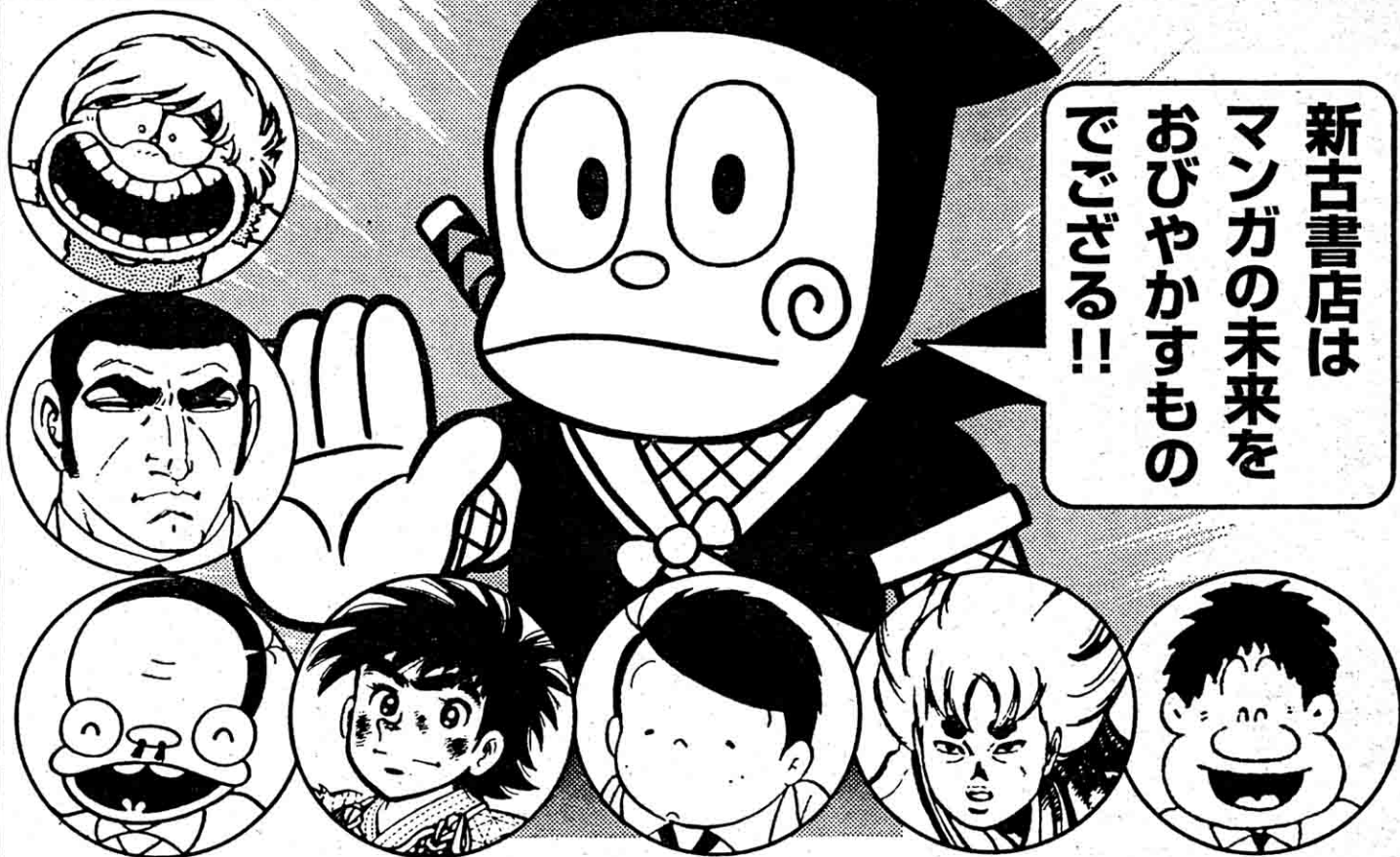


21世紀のコミック作家の
著作権を考える会アピール

私たちは新古書店での コミックスの売買に反対します



新古書店は
マンガの未来を
おびやかすもの
でびびる!!

読者の皆様が新刊書店でコミックスを購入された場合、コミックスの代金は、作者である漫画家に印税として還元される流れとなっています。コミックスの印税で、作家は、生活し、創作活動を維持し、新たな作品を生み出します。

ところが、新古書店でコミックスが購入された場合、この読者←→作家という漫画作品を生み出す仕組みからは、まったくはずれてしまい、お客と新古書店の間でのみの閉じられた関係となってしまいます。私たち漫画家は、その場合一切収入は得られません。ひいては、有望な新人が漫画界にくるのを止めてしまい、漫画界の将来に大きな危機をもたらします。読者の皆様には、ぜひ以上のことをご理解されて、新古書店でコミックスをお売りになる前に、また新古書店でコミックスをご購入なさる前に、改めて私たちの主張をお考えいただければ幸いです。

2001年9月

「21世紀のコミック作家の著作権を考える会」会員一同
コミック作家252名

*問い合わせ及び作家の方の新規入会申し込みは、「21世紀のコミック作家の著作権を考える会」事務局まで。
TEL03・3546・0378 FAX03・3546・0280(山崎司平法律事務所)

◆「21世紀のコミック作家の著作権を考える会」の要請を受け、漫画作家の方々の考え方を理解した上で、このアピールを掲載することにいたしました。 ビッグスピリッツ編集部